SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社ドゥ．ヨネザワ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		本社全部署・法人営業部門・店舗部門（20店舗）すべての拠点にて掲示ならびに毎朝唱和を実施している。また、毎年全社・部署ｽﾛｰｶﾞﾝを掲示、明確にすることで時流の変化に即応できる社内体制を構築している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		個人情報保護法の遵守は勿論のこと、宅地建物取法令は定期的な研修参加を実施している。又、各法令改定時には勉強会や研修参加等実施している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		同一商品、同一取引については2社以上の見積もりを取り公正に判断を行い取引を行っている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		Gr会社と連携し担当部署への意見聴取を行い、微力ではある物の、リサイクルペーパーを採用した顧客向けツールを採用するなど社外に向けた発信を行っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		飲食事業については「メニューの独創性」ゴルフ事業部については専門部署による「新たなサービスによる顧客開拓」を創造するよう現在取り組んでおり、確率前には知的財産の勉強会実施予定。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		不動産及びゴルフ場については個人情報保護観点から、書類については「シュレッダーにて粉砕処理」を徹底している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		各事業部とも「お客様の声」を反映するべく、お客様ご指摘の「確認、対策、検証」を繰り返し行い「質の向上」に努めている。取引業者とも関係各所が連携を図り「質の向上」の為に打合せを実施している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	取引先との「パートナーシップ」は各部取れており、自社で使用する「薬剤」などは生態系の影響が少ない物を活用している。又、定期的に「ハラスメント防止教育」を実施し認識向上に努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	各部「組織図」による連絡網の策定を実施。施設などでは「避難訓練」を実施しBIAにおいて最も重要である「顧客安全の確保を図る」事を意識している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	マンパワーからの脱却を図り①ビジョンの共有②各セクションの担い手確保③作業のルーティーン化により円滑な事業承継対策を実施。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		自社契約の社会保険労務士に依頼し各種「ハラスメント」教育を実施し意識の控除に努めると共に、「ホットダイヤル（社会保険労務士直通）を開設し各部署へのポスター貼付を行い、ハラスメント事故が起こった場合の体制を取っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		産業医による職場巡回の実施及び、飲食事業部では衛生的職場を保つため①定期的な検便検査による人員健康管理実施②制服のリース化による衛生環境の確保に取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		中小企業への同一労働同一賃金適用にむけ、労働者の不合理な待遇差解消を目的に更なる労務管理の改善を随時実施。部署間の雇用形態による「賃金不均衡」を無くすべく現在、取組を実施中。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		健康経営実践のため、適切な働き方実現に向けた取組みを実施。 早番・遅番制度導入するなどワークライフバランスを意識し取組を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		部署間での異動を行い「適切な能力開発」の実施に取り組みを行っており、教育に関しては再認識も含め各所毎に実施中。今後社外での「スキルアップ研修」も含め実施予定。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		「協会けんぽ」へのヘルスター宣言を2017年から実施しており、今後は「経済産業省」の健康優良法人認定に向け更なる従業者の健康づくりに向けた具体的な策を実施予定。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		以前から女性管理職を増やす取組みは勿論のこと、組織内の人財が特性を生かし働ける環境を構築することで価値創造に繋げている。多様な生活環境に合わせた「働き方」を今後も促進していく。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	本社・店舗ともにZOOMを活用したウェブ会議の推奨ならびに緊急事態宣言時に伴うテレワークを導入。又、社内打合せに関してはメール、ショートメールの活用を実施。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	月次役員会議などオンライン化の推進に加え、売上システムのクラウド化勤怠申請のクラウド化等を実施中。ペーパーレス化による環境保全に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社ドゥ．ヨネザワ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	【予定】2022年度（6月頃）ブライト企業申請予定。			3	4				8	9			12					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ゴルフ場についても環境に配慮した薬剤散布実施。飲食店で利用した「食用油」は適切に処理するとともに、再利用（石鹸等）にも活用をおこない、リサイクルしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		照明のLED化を推進し、冷房などについてはサーキュレーターを併用し使用量の削減を図っている。空調の「オンデマンド管理」も委託し更なる削減実施予定。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		（エネルギー使用量）燃料・熱：66t-CO2　電力：142t-CO2（合計208） イ）社員不在時の消灯徹底　ロ）オフィスカジュアル導入によるクールビズ・ウォームビズ適正室温　ハ）社内照明のLED化　ニ）EV車導入		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		会議・ミーティング時などペーパーレス化の促進、社用車のクリーンディーゼル・EV車促進、危険指定農薬の排除により、生態系維持に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		衛生面との反比例するところはある物の、コピー用紙の裁量や、再生紙の活用など、限りある資源の循環を行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		各洗面所への「節水」に関する注意喚起は勿論のこと 【水の国高校生フォーラム】への協賛を行うなど水資源関する育成の一端を担っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		ペットボトルリサイクルペーパーを活用したメニュー表の作成や日頃使用する文具用品なども極力グリーンマーク適合商品の購入を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	社内報にて「フードロスをなくそう」の呼びかけを全社員に実施。 飲食事業に関しても各事業場の連携を図ると共に、フードロス対策のいっかんとして「テイクアウト」等にも取り組み削減を行っている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	ゴルフ場での緑化再生を一昨年より実施し、2020年緑化再生と共にゴルフ場をオープン。2021年7月には敷地内緑化を行った飲食店を熊本市にオープンし緑化創出、保全、管理に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	太陽光発電を設置し、マンション専有部及び共有部の電力を昼間はまかなっており、再生可能エネルギーの利用に寄与している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	ゴルフ場を通じ樹木の適切な伐採や植樹、定期的な芝の育成実施中。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	ゴルフ場での森林整備活動実施中。又、飲食店移転に伴う店舗入り口に植樹を行い、整備活動実施中。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	プラスチックの「箸」から竹製箸への変更など実施。日頃から頻繁に利用する物からプラステックの利用削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	ゴルフ場での「電動カート」の使用やEV社用車の配備等に取り組んでおり、今後更なるCO2排出削減に随時取り組んでいく。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	過去ガソリン車が支流であった社用車を現在はほぼ「クリーンディーゼル者」としており一部でEV車も導入。2050念の「CO”排出ゼロ」を目指し今後も随時取組を行っていく。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社ドゥ．ヨネザワ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		飲食部門に関しては、定期的な「安全衛生検査」（外部委託）を導入し「食の安全確保に取り組んでいる。又、サービスについても「管理栄養士」による食の質向上、サービスにおいても看護師による対顧客健康チェック等のを実施し品質の確保に加え向上に努めている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		マンション及び、飲食店に関してはユニバーサルデザインを採用し車椅子等でも利用できる環境を整えている。又、既存不動産に関しても新築物についてはユニバーサルデザインを採用すると共に築年数の古い物件に関してはスロープを作成し装着するなど実施している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	飲食部門では多くの材料に「熊本県産材料」を使用しており、量的にも優先し使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	各事業所とも内装品には木材を使用したテーブルや椅子を使用し事業所毎に高級感や、暖かな雰囲気を出すように心がけている。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	産学官連携を助長する為「水の国熊本フォーラム」に協賛すると共に、熊本の水資源保護には前向きに参画を検討し、農林水産業のへの悪影響を防止するよう努めている。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		各事業所とも地方自治の為「防犯カメラの設置」や、居住者が罹災時に一時避難場所の確認、避難訓練等を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		熊本県化事業所全員が確認できる社内システムにて「防災情報くまもと」URLを添付。避難警報やハザードマップの確認を出来、且つ避難所が確認出来るようにしている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	全店舗へAEDを設置しており、従業員に救急救命訓練を実施。事業所によっては看護師を採用している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	他企業からも情報収集しながら、社内報・社内会議等においてSDGsの啓発活動を実施している。グループ全社を巻き込んだSDGsの教育、社会課題に対する問題提起などを実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	積極的な職場体験・インターンシップ受け入れを実施中。 阿蘇 湯の谷蘇生プロジェクトにおいては、地域の児童も参加いただくことで学びの場が提供できるよう計画している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	県内就職を促進する意味で、「高校への就職あっせん」、Uターン希望者獲得の為外部媒体も活用を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	「水の国高校生フォーラム」への協賛を行い、将来の「農林水産業」担い手が広がるよう取組を行っている。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。